

特許文書分析・調査・査読支援・グラフ化システム

---

# PAT MINING

ぱっとマイニング JP&ビューア

## 新機能一覧

V7.21.3 対応版 2021年7月9日

## ✓ NOO V7.21.3 のアップデートにおける変更点一覧

---

### － 新機能 －

---

- 分析項目/グラフ軸に【公報種別\_国\_】を追加。  
(集計対象に使用でき、国別出願グラフ等の作成が可能に。)
- 

### － 機能改定 －

---

- 海外特許対応版の分析項目にJP-NET海外DBからダウンロードした【詳細な説明】を追加。
  - JP-NET/NewCSS海外DBからDLした日本特許を分析軸に追加。  
(US、EP、WO等の海外公報とともに一部のグラフを作成する事が可能に。)
  - 分析項目に【独立請求項】を追加。
  - 時系列グラフ作成時、ラベル表記を 2000年～2001年のような範囲表記になるよう変更。
  - 権利化状態判定の生死判定にてJP-NET CSVのステータス情報も利用するよう変更。
- 

### － 修正 －

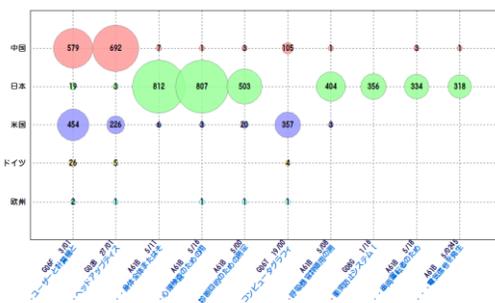
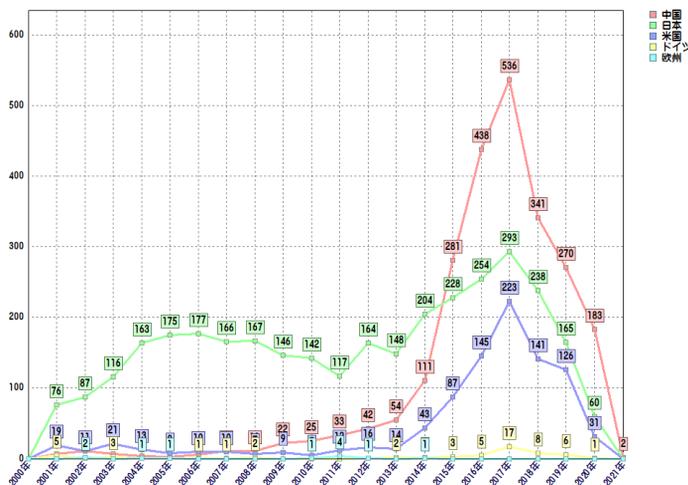
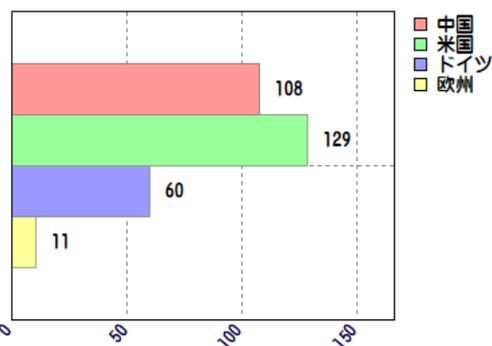
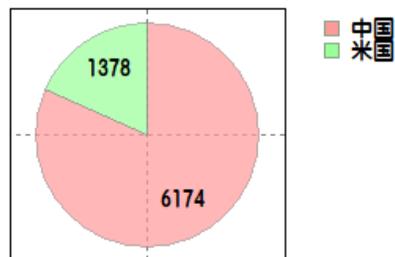
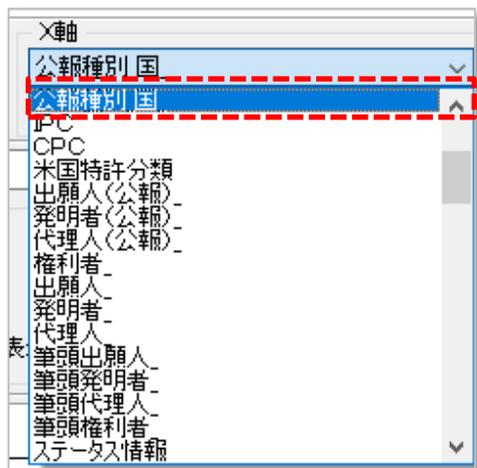
---

- 棒グラフ(横)左右に並べる設定において、凡例とグラフの表示順序が逆順になっていた問題を修正。
- 戦略分析のグラフ選択用のGUIが正しく表示されなくなっていた問題を修正。
- パテントスクエア米国公報の公報種別が一部正しく判定されなかった問題を修正。
- グラフ描画時、グラフ右側の凡例が画面外にはみ出る問題を修正。
- ウィンドウ最大化時に「全画面表示」を行うと画面外にはみ出る問題を修正。
- 設定確認の設定一覧リスト左端のNoを3桁まで表示できるよう修正。
- JP-NET/NewCSS連携使用時に日本公報と海外公報が混在していた場合海外公報DBを利用して連携動作するよう変更。  
(従来は、混在時は海外公報のみを対象とし、日本公報を無視していた)

— 公報種別で国別のマップが作成可能に —

☑ 分析項目/グラフ軸に【公報種別\_国】を追加しました。

※ 海外データの利用には海外オプションの追加が必要です。



☑ 集計対象に使用でき、国別グラフの作成が可能です。

☑ 国別の出願推移、技術分野毎の出願国の比率等、グローバルの出願動向を可視化します。

★ ここがポイント！ ★

本機能は、ぱっとマイニング 海外対応版(JP-NET/NewCSS海外DBからダウンロードしたデータ)でご利用いただけます。

— より詳しい分析を海外データでも —

- ☑ 海外特許対応版の分析項目にJP-NET海外DBからダウンロードした【詳細な説明】を追加。

△	発明の名称	出願日	△発明の詳細な説明	公報種別国
7412	<input type="checkbox"/> Virtual reality system	2016/07/06	Virtual reality system and the control method of virtual reality system Background technology VR glasses are i. e.	中国
7413	<input type="checkbox"/> Virtual reality system	2020/03/10	Virtual reality system and virtual reality object control method Background In a virtual reality scenario, some control	中国
7414	<input type="checkbox"/> Virtual reality system	2016/10/24	Virtual reality system and virtual reality system input method Background technology Virtual reality (Virtual Reality,	中国
7415	<input type="checkbox"/> Virtual reality system	2016/10/24	Virtual reality system and virtual reality system input method Background technology Virtual reality (abbreviation VR)	中国
7416	<input type="checkbox"/> Game-based virtual reality system	2020/01/03	Virtual reality system based on games Background Virtual reality technology, also known as	中国
7417	<input type="checkbox"/> Virtual reality system	2017/10/18	Virtual reality system based on mobile phone terminal Background Current virtual reality glasses (VR glasses)	中国
7418	<input type="checkbox"/> Data transmission method	2018/03/09	Virtual reality system data transmission method Background technology Currently, in virtual reality system	中国

■ 発明の詳細な説明 (詳細な説明)

Virtual reality system and virtual reality system input method  
Technical field relates to technical field of virtual reality, in particular to a kind of virtual reality system  
System input method.  
Background technology Virtual reality (Virtual Reality, abbreviation VR) is a system of offer immersion experience, generally it is made of head-mounted display, processor. Wherein, head-mounted display is for exporting stereoscopic three-dimensional sound effect and other effects, so that user can carry out virtual reality, set of sensors receives user input instruction, place for bearing device is then used to be responsible for analyzing sensors signal, records out corresponding output, so as to realize user and virtual world. Intend the virtual reality system coordinates user behavior generation picture, sound to be perceived by user by computer, to reach it is isolated to by user with real world,

※ 海外データの利用には海外オプションの追加が必要です。

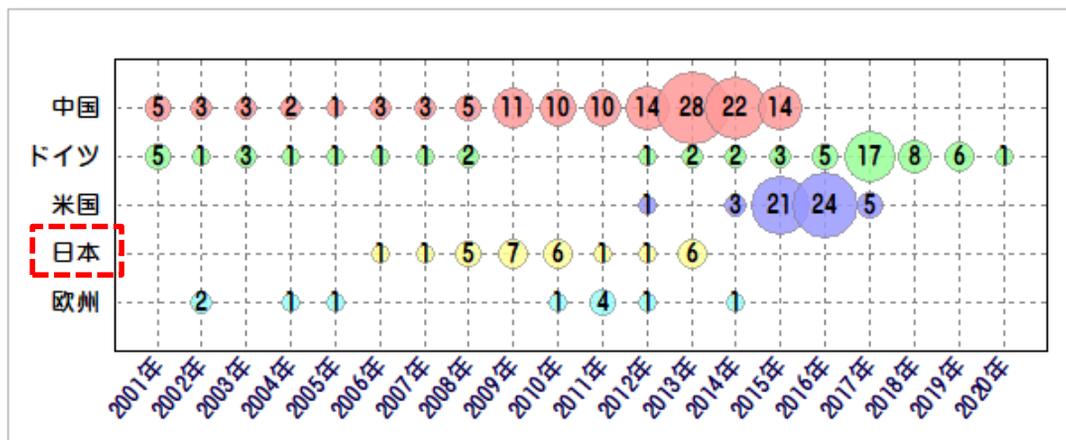
- ☑ これまで海外のJP-NET CSVデータの読み込み時に【詳細な説明】は読み込めませんでしたが、データを読み込み、マップ化や分析を行なうことが出来るようになりました。

☆ ここがポイント! ☆

データのダウンロード時に【詳細な説明】を含む項目をダウンロードする必要があります。

— 日本とほかの国の特許の比較が可能に —

☑ JP-NET/NewCSS海外DBからDLLした日本特許を分析軸に追加しました。



※ 海外データの利用には海外オプションの追加が必要です。

☑ US、EP、WO等の海外公報とともにJPを含めた軸を一部のグラフを作成する事が可能になりました。

★ ここがポイント！ ★

英語データの日本公報だけでなく、海外公報と同時に読み込んだ日本公報や、結合ツールを用いて結合した日本公報にも適応されます。

- ☑ 分析項目に【独立請求項】を追加しました。

分析対象

- 発明の名称
- 特許請求の範囲
- 要約
- 要約/課題
- 要約/解決手段
- 要約/その他の項目
- 発明の詳細な説明
- 独立請求項
- 筆頭請求項

■ 出願番号  
特願2019-121405

■ 発明の名称 (発明(考案)名称)  
自動運転車両、運行管理センタおよび車両運行システム

■ 独立請求項

【請求項1】運行管理センタからの指示に従って自動走行する自動モードを有する自動運転車両であって、前記運行管理センタに自動モード要求を送信し、前記運行管理センタからの許可を受信することで自動モードに移行できる、許可待ち状態となり、前記許可待ち状態において、前記運行管理センタからの許可を受信した場合に、オペレータの発進操作待ち状態となり、前記発進操作待ち状態において、前記オペレータの発進操作があった場合に、前記自動モードにおける走行を開始する、自動運転車両。

【請求項5】運行管理センタと、運行管理センタからの指示に従って自動走行する自動運転車両を含む、車両運行システムであって、前記自動運転車両が、自動モード要求と、当該自動運転車両についての車両情報を前記運行管理センタに送信し、前記運行管理センタからの許可を受信することで自動モードに移行できる、許可待ち状態となり、運行管理センタが、受信した前記車両情報に基づいて当該自動運転車両が運行計画に合致する車両かを判定し、合致する場合に前記自動

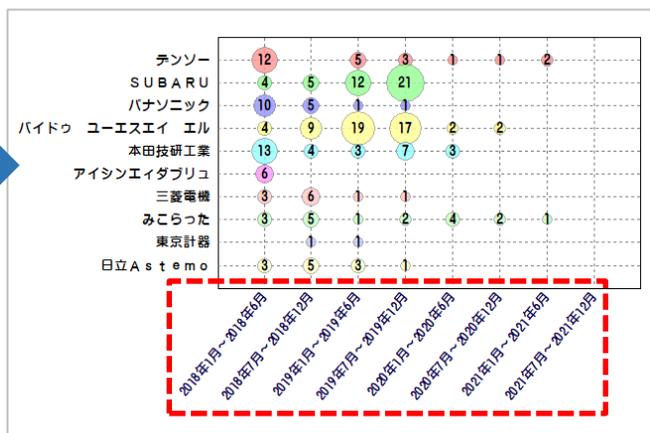
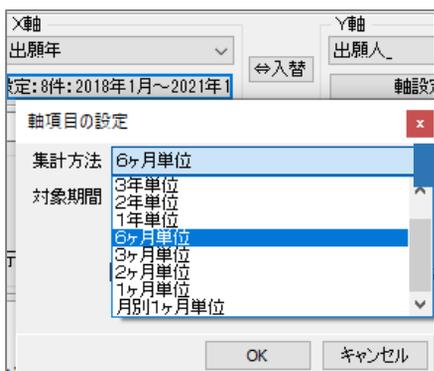
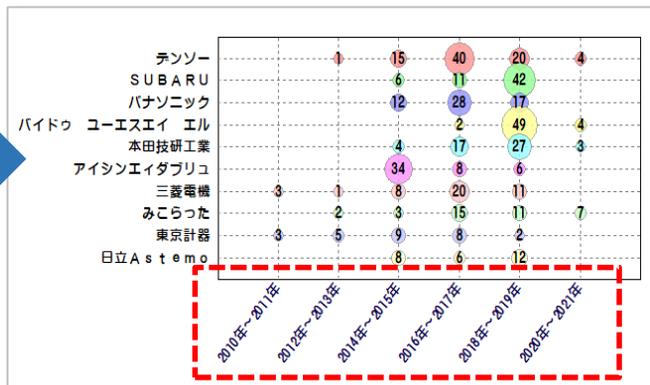
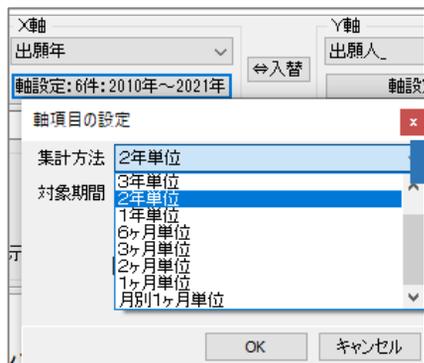
- ☑ 独立請求項のみを表示し、確認や分析を行なうことが出来るため、調査時には従属請求項を省いて確認が出来ます。
- ☑ 近傍検索を使った検索でも便利です。

★ ここがポイント！ ★

データのダウンロード時に【独立請求項】の項目をダウンロードする必要があります。

— 範囲表記のラベルを変更 —

- ☑ 時系列グラフ作成時、ラベル表記を2000年～2001年のような範囲表記になるよう変更。



- ☑ 以前は数年単位や数か月単位の項目が、集計がスタートする年や月のみが表示されていたため、より伝わりやすくするため、表記を変更しました。

★ ここがポイント！ ★

表示文字数が長くなったため、項目の文字がすべて表示されない場合があります。その場合、「フォント・色設定」のボタンから「グラフ詳細設定」を呼び出し、時系列の軸ラベルの表示文字数を増やしてください。

— ステータス情報も権利状態判定項目として追加 —

- ☑ JP-NET /NewCSS CSVの【ステータス情報】により、一部の権利化判定をすることも可能になりました。

**【審査経過項目】**

発行日(最新)

ステータス情報 ※3

出願人識別番号

権利状態判定の詳細 1—詳細判定

権利状態の定方法と読み込むデータの種別との関係は以下のとおりです

「権利状態詳細判定」について				
この判定が利用されている分析機能(画面)			読み込むデータの種別	
			① グラフブラウザ「権利状態詳細判定」	
			② 戦略分析「権利状態時系列分析」の詳細判定	
			③ 戦略分析「権利状態項目分析」の詳細判定	
No	表示名	状態内容	読み込むデータの種別	
			経過情報を含むCSV	JP-NET全文テキストデータ
1	権利存続中	特許査定され、権利が存続しているもの。	○	—
2	権利化済 状態不明	特許査定されているが、【本権利抹消識別】の項目の情報がないもの。	○	○ (「公報種別」で判定)
3	権利化後消滅	特許査定されているが、存続期間満了日を過ぎたり、年金不納により抹消となったもの。	○	△ (「出願からの年数で判断する」にチェックを入れた場合のみ)
4	権利化前消滅	未審査請求による取下など、審査請求を行わずに権利が消滅したもの。	○	△ (「出願からの年数で判断する」にチェックを入れた場合のみ)
5	審査請求済(拒絶確定)	審査請求後に取下、放棄などにより、権利化されないことが確定したもの。	○	—
6	審査請求済(拒絶)	審査請求後に拒絶査定となったもの。(ただし不服審判で覆る可能性がある。)	○	—
7	審査請求済(未確定)	審査請求後に査定が出ていないもの。	○	○ (「審査請求」「早期審査」で判定)
8	未審査	審査請求されていないもの。	○	○ (「審査請求」「早期審査」で判定)

- ☑ ステータス情報を判定基準に追加した事で、より精度の高い判定が可能になりました。
- ☑ 生死状態のみであれば、【ステータス情報】の項目のみで確認出来ます。
- ☑ 【ステータス情報】の項目では「権利化後前消滅」、「権利化後消滅」を判定することが可能です。「権利化後前消滅」、「権利化後消滅」以外の項目は「未審査」で表示されます。

★ ここがポイント! ★

もちろん他の審査経過項目の情報があれば、より詳しく権利状態の判定をすることが可能です。